

東日本大震災県内避難者交流会について

1 趣旨

- 県では、去る4月22日から5月27日にかけて、東日本大震災により被災地から本県に避難している方々の現状等を把握するため避難者アンケートを実施。
- このアンケートの中で、避難者の集まりの場の提供を望む意見があったことを踏まえ、国や県などが実施している各種支援策の周知、及び避難者相互の情報交換の場として、「東日本大震災県内避難者交流会」を開催した。

2 日時・場所

- 日時：平成23年7月3日（日）11：00～14：00
- 場所：熊本テルサ（熊本市水前寺）
※避難者の希望を踏まえ、非公開で開催。

3 参加者数

- 47世帯 109人（大人67人、小中学生21人、未就学児童・幼児21人）
※市町村を通じて把握している県内避難者75世帯187人のうち、約6割が出席。

<参加者の内訳>

宮城県	14世帯（36人）
福島県	21世帯（38人）
茨城県	4世帯（13人）
栃木県	1世帯（4人）
神奈川県	3世帯（7人）
千葉県	3世帯（7人）
東京都	1世帯（4人）
計	47世帯（109人）

4 当日の次第

- 11：00 ・開会
・各種支援策の説明
・イベント等のお知らせ（ボランティア団体主催の交流会や林間学校、ねんりんピック、県劇コンサートの案内等）
- 12：00 ・情報交換、懇談（各世帯からの自己紹介の後、自由な懇談）
- 14：00 ・閉会

5 当日の状況、参加者の感想・意見等

(1) 各種支援策の説明

○国、県、関係機関の支援策のポイントをスライドで説明。詳細については、用意した資料を後で参照していただいたく形をとった。

○参加者のアンケートにおいては、約8割の方が「役に立った」又は「まあまあ役に立った」と回答。「個人では集められなかった情報が一度に入手できた。」「知らない情報を入手できて助かった。」といった意見がある一方、「もっと早い時期に情報提供してもらおうと助かった。」「もう少し詳しく説明を聞きたかった。」という意見もあった。

(2) 情報交換・懇談

○全体として、和やかな雰囲気の中で情報交換・懇談が進んだ。特に、同じ被災県から避難された方々や、小さな子供を抱えておられる方同士の積極的な懇談が目立った。

○参加者アンケートにおいては、9割以上の方が「よかった」又は「まあまあよかった」と回答。「同じ境遇におかれた者同士で、情報交換ができたり、悩み・不安などが共有できてよかった。」「自分たち以外にも多くの方が避難されており勇気づけられた。」「前向きに頑張ろうという気持ちが持てた。」といった意見が多かった。

(3) その他

○参加者アンケート等において、「また交流会を開催してほしい（9件）」「会場に相談ブースがあればよかった（1件）」「被災証明等が発行されない避難者ももっと支援が受けられるようにしてほしい（1件）」といった要望があった。

お問い合わせ先

東日本大震災支援チーム

池崎、原、井上、木村

直通 096-333-2811

内線 3097